

論 題

指導教員

ディケンズの人生観と登場人物たち	01 川崎 明子
ヴィクトリア朝における女性の在り方	01 川崎 明子
ジェイン・オースティン小説における結婚観	01 川崎 明子
<シャーロック・ホームズ>シリーズにおける犯罪動機の階級的差異	01 川崎 明子
探偵小説の確立	01 川崎 明子
ゴシック小説からサイエンス・フィクションへー『フランケンシュタイン』と『タイムマシン』ー	01 川崎 明子
イギリス文学から見える女性の生き方	01 川崎 明子
The Grammar and the Vocabulary in Kazuo Ishiguro's Works	01 川崎 明子
ファッションと女性	01 川崎 明子
『フランダーズの犬』研究	02 大淵 利春
世界の食文化 ー英語圏を中心にー	02 大淵 利春
オスカー・ワイルド研究 ー『獄中記』を中心にー	02 大淵 利春
テニスの歴史	02 大淵 利春
ハリー・ポッター研究	02 大淵 利春
オスカー・ワイルド研究	02 大淵 利春
オスカー・ワイルド研究 ー散文詩を中心にー	02 大淵 利春
HIP HOP のルーツと歴史	02 大淵 利春
バーナード・マラマッド研究	03 東 雄一郎
アメリカ ヒップホップ文化史	03 東 雄一郎
フォレスト・ガンブ論	03 東 雄一郎

アーネスト・ヘミングウェイ論 ー『老人と海』ー	03 東 雄一郎
William Faulkner 研究 ー短編小説を中心にー	03 東 雄一郎
マーク・トウェイン研究	03 東 雄一郎
アメリカのロスト・ジェネレーション研究	03 東 雄一郎
S. S.ヴァン・ダイン研究	03 東 雄一郎
『ウエスト・サイド・ストーリー』研究	03 東 雄一郎
アーネスト・ヘミングウェイ研究 ー短編小説を中心にー	03 東 雄一郎
ディズニー映画研究 ー作品から見るアメリカとその影響ー	03 東 雄一郎
アフリカ系アメリカ人研究	03 東 雄一郎
ジャック・ケルアック研究	03 東 雄一郎
ジョン・スタインベック研究	03 東 雄一郎
F・スコット・フィッツジェラルド研究	03 東 雄一郎
ジョン・スタインベック研究	03 東 雄一郎
『グレート・ギャツビー』研究	03 東 雄一郎
『グレート・ギャツビー』の象徴性 ー「エクルバーグ博士の眼」と「ふくろう眼鏡の男」	03 東 雄一郎
ウォルト・ディズニーと英語	03 東 雄一郎
THE COMPARISON OF BASEBALL MOVIES BETWEEN THE UNITED STATES AND JAPAN	03 東 雄一郎
THE STUDY OF WEST COAST IN THE USA	03 東 雄一郎
『喜びの秘密』から見る黒人女性の自立	04 本村 浩二
『彼らの目は神を見ていた』からみる黒人コミュニティ ー家父長制度と女性の生き方ー	04 本村 浩二
『ハウ・ハナ』にみるハワイ移民	04 本村 浩二

<u>Twelve Years a Slave</u> から見る南部女性達の苦悩	04 本村 浩二
『ハックルベリー・フィンの冒けん』にみる奴隷制度下の良心	04 本村 浩二
『白い黒人』から見るパッシングの複雑さ	04 本村 浩二
『無垢の時代』における上流階級の女性の生き方	04 本村 浩二
Emily Dickinson の詩作における視点	04 本村 浩二
映画、歴史、音楽から見る公民権運動	04 本村 浩二
Twelve Years a Slave における自由黒人と奴隷黒人の境界線	04 本村 浩二
『ティファニーで朝食を』におけるホリー・ゴライトリーの自由	04 本村 浩二
『アラバマ物語』から見る人種の溝	04 本村 浩二
『アラバマ物語』で見る人種間の対立	04 本村 浩二
『アメリカの悲劇』から見るクライドの苦悩	04 本村 浩二
ウーマニストとしてのシャグー 『カラーパープル』に関する一考察ー	04 本村 浩二
『ライ麦畑でつかまえて』における弱者男性の再生	04 本村 浩二
『風と共に去りぬ』からみるスカーレット・オハラの魅力	04 本村 浩二
『ハックルベリー・フィンの冒険』におけるハックの良心の変化	04 本村 浩二
『ハックルベリー・フィンの冒険』におけるハックの成長	04 本村 浩二
ヘミングウェイからみる『ハックルベリー・フィンの冒険』の考察	04 本村 浩二
アメリカンドリーム の 光と影ーアメリカ映画におけるニューヨーク の 役割ー	05 川崎 浩太郎
アメリカ文学における方位 の 役割	05 川崎 浩太郎
公民権思想から育まれたアメリカ文化	05 川崎 浩太郎

アメリカの文学・文化における「懐かしさ」の諸相	05 川崎 浩太郎
アメリカにおける入植者と先住民の物語 ー文学作品と映画アダプテーションを中心としてー	05 川崎 浩太郎
文学・映画から読みとるアメリカの格差社会	05 川崎 浩太郎
トランプ政権下で読み直すボブ・ディラン	05 川崎 浩太郎
アメリカ映画における公民権運動 ージム・クロウ法撤廃の流れと今後の課題ー	05 川崎 浩太郎
『ティファニーで朝食を』からみるアメリカ的自由の諸相 ー政治・ジェンダー・ペット表象を中心としてー	05 川崎 浩太郎
アメリカ文学にみられる移動と成長	05 川崎 浩太郎
少年たちの旅物語と通過儀礼 ーアメリカ児童文学を中心にー	05 川崎 浩太郎
アメリカ文化におけるヒーロー像 ー日米の比較ー	05 川崎 浩太郎
アメリカ文化におけるカントリーミュージックの役割	05 川崎 浩太郎
現代アメリカ社会における人種とジェンダー ー公民権運動期を背景とした映画を中心としてー	05 川崎 浩太郎
アメリカン・ロードムービーにおける車の表象	05 川崎 浩太郎
アメリカ文学・映画における犬の存在	05 川崎 浩太郎
アメリカ文学・映画作品におけるLGBTQ表象	05 川崎 浩太郎
アメリカ文学における人種問題 ー白と黒の境界線を”passing”するー	05 川崎 浩太郎
アメリカ文学における移動 ー乗り物(ヴァークル)の表象を中心としてー	05 川崎 浩太郎
アメリカ文学・映像作品におけるジェンダー表象 ー児童向け作品の家族像を中心としてー	05 川崎 浩太郎
アメリカの映像作品におけるジェンダー表象 ー児童向け作品の家族像を中心としてー	05 川崎 浩太郎
アメリカ社会における多文化・多民族について ーディズニー作品を中心としてー	05 川崎 浩太郎
How the Velvet Underground Countered ”the Culture”	05 川崎 浩太郎
『ロミオとジュリエット』を構成する要素	06 逢見 明久

社会を映し出す劇作としての『ロミオとジュリエット』	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究 ―見ることは好きになることか―	06 逢見 明久
バズ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』の物質主義批判	06 逢見 明久
バズ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』研究	06 逢見 明久
バズ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』における演出とその意図について ―ゼフィレリ版との比較による研究―	06 逢見 明久
バズ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』にみる演劇論	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』にみるシェイクスピアのヒューマニズム ―家父長制社会とジュリエット―	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究 ―物欲と愛情について―	06 逢見 明久
バズ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』における音楽の役割	06 逢見 明久
バズ・ラーマン監督作品『ロミオとジュリエット』の研究	06 逢見 明久
バズ・ラーマン監督作品『ロミオとジュリエット』研究 ―両極的モチーフについて―	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究 ―セリフから読み解く本音と建前―	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究 ―ロレンス神父の人間性―	06 逢見 明久
A Study of <u>Romeo and Juliet</u> -On the Role of Mercutio-	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』における賢明さについての―考察 ―演技者としてのジュリエット―	06 逢見 明久
バズ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』における善と悪の葛藤について	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究 ―客観的相関物についての考察―	06 逢見 明久
バズ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』における現代的翻案研究	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』原作映画比較研究 ―両極性のテーマを中心に―	06 逢見 明久
『ロミオとジュリエット』研究 ―社会的責任と個人的感情について―	06 逢見 明久
A Study of How to Improve Communicaiton Skills in English in Junior High Schools in Japan	07 モート, セーラ

A Study of <u>Alice's Adventures in Wonderland</u> by Lewis Carroll - From the perspective of translation and children's literature -	07 モート, セーラ
A Study of <u>Emma</u> by Jane Austen - with reference to marriage in the early nineteenth century in Britain -	07 モート, セーラ
A Study of <u>1984</u> by George Orwell - from the perspectives of "dystopia" and "discretion" -	07 モート, セーラ
A Study of <u>The Tale of Peter Rabbit</u> by Beatrix Potter - with reference to education for women in the period -	07 モート, セーラ
A Study of <u>Pride and Prejudice</u> by Jane Austen - with refernce to love and marriage -	07 モート, セーラ
A Study of <u>The Tale of Peter Rabbit</u> by Beatrix Potter	07 モート, セーラ
A Study of <u>Hamlet</u> by William Shakespeare - with refernce to "Ophelia" by John Everett Millais -	07 モート, セーラ
A Study of <u>Pride and Prejudice</u> by Jane Austen	07 モート, セーラ
A Study of <u>Persuasion</u> by Jane Austen - with refernce to the beginnings of the Industrial Revolution -	07 モート, セーラ
A Study of <u>A Christmas Carol</u> by Charles Dickens - and English Christmas cultrure in nineteenth century Britain -	07 モート, セーラ
A Study of <u>Pride and Prejudice</u> by Jane Austen -with refence to travel and tourism in late eighteenth and early nineteenth century Britain -	07 モート, セーラ
英語圏で生まれた子供の言語習得	08 佐藤 真二
ファンタジードラマの英語発音 -オリジナル発音の有無-	08 佐藤 真二
言語習得に影響を及ぼす要素 -家族か地域か-	08 佐藤 真二
イギリスの若者英語	08 佐藤 真二
スペイン語圏の人々の英語	08 佐藤 真二
中国人の若者が話す英語発音	08 佐藤 真二
英語を母語としない話者とその子供たちの英語発音	08 佐藤 真二
日本人が話す英語 -日本語の方言や英語方言の知識の影響-	08 佐藤 真二
楽曲と会話における英語発音の相違	08 佐藤 真二
アジア圏の英語の習得方法	08 佐藤 真二

オーストラリア英語の発音の地域差	08 佐藤 真二
ジブリ映画の英語吹き替え – 発音がキャラクターに及ぼす影響 –	08 佐藤 真二
A Study of Current Pronunciation of British English	08 佐藤 真二
日本語のテイル形から考える英語の文法	09 北原 賢一
オノマトペが及ぼす日英表現の違い	09 北原 賢一
日本語の中のカタカナ語	09 北原 賢一
通時的にとらえる日本語と英語の言語的特徴 – 歴史的転換点に着目して –	09 北原 賢一
ボブ・ディランからみる日英文化の比較	09 北原 賢一
関西弁とコミュニケーション – 関西弁と標準語の比較 –	09 北原 賢一
英語教育に和訳は必要なのか	09 北原 賢一
ゴルフから考察する欧米と日本	09 北原 賢一
台詞から考察する日本語と英語の姿 – ドラマ『プリズン・ブレイク』の英語 –	09 北原 賢一
男性中心的な英語は差別なのか	09 北原 賢一
広告文に見る企業と消費者のコミュニケーション	09 北原 賢一
日本人は優しい？ – 気づかいはできる日本人が、死刑制度を廃止できないワケ –	09 北原 賢一
比喩と私たちの日常言語	09 北原 賢一
Advantages and Disadvantages of the Grammar-Translation Method – For the Improvement of Native Japanese Speakers' English proficiency –	09 北原 賢一
オーストラリア英語とは何か – その変化と本質 –	09 北原 賢一
主語とは何か – 英語における無生物主語の多用 –	09 北原 賢一
日本語と英語の「らしさ」を決めるもの – 認知言語学と文化人類学の接点 –	09 北原 賢一